

29年6月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 6月1日～ 29年6月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は43社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/6月	7月	8月
仕入動向	国産材	△ 16.7	△ 13.3	△ 3.4
	外材	△ 19.4	△ 15.7	△ 11.8
販売動向	国産材	△ 13.3	△ 5.0	△ 6.7
	外材	△ 12.2	△ 8.1	△ 15.3
在庫動向	国産材	△ 10.0	△ 11.7	△ 8.6
	外材	△ 16.2	△ 13.5	△ 9.7

・国産材・外材製材品の荷動き動向は、仕入、販売、在庫とも3カ月連続の減少で推移。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/6月	7月	8月
スギ正角(グリーン)	△ 4.5	△ 4.5	△ 4.8
スギ正角(KD)	△ 6.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	△ 2.0	0.0	△ 2.1
ヒノキ土台角	△ 4.0	4.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	2.3	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 2.1	0.0	△ 2.2
米ツガ割物(現地挽)	4.3	2.2	0.0
米マツ平角	8.0	2.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	12.1	10.3	0.0
ホワイトウッド集成管柱	3.7	1.9	△ 1.9
レッドウッド集成平角	18.0	10.0	0.0
型枠合板(輸入)	10.0	16.0	8.7
針葉樹構造用合板	4.2	6.3	6.8
針葉樹構造用合板(厚物)	6.5	8.7	6.8

・スギ正角(グリーン)は、弱含みで推移。KDは6月の弱含みから7月、8月は保合いに。
・ヒノキ正角(KD)は、総じて弱含み、土台角は6月の弱含みから強保合に。
・米ツガ正角(現地挽)は、強保合、防腐土台角は弱保合で推移、割物(現地挽)は強保合で推移。
・米マツ平角は6月の強含みから強保合に。
・北洋アカマツタルキ(現地挽)及びレッドウッド集成平角は6月、7月の強含みから8月は保合いに。
・型枠合板(輸入)及び針葉樹構造用合板は、強含みで推移。